

第 52 回生命情報科学シンポジウム発表内容

会長講演

ヒプノセラピーの可能性

川嶋 朗

国際生命情報科学会 (ISLIS) 会長
東京有明医療大学(Tokyo, Japan)

要旨: 今回のテーマ「スピリチュアル医療」の「スピリチュアル」は霊的、宗教的などと訳され、そのニュアンスから怪しいものとみなされてしまうことも多い。演者は「スピリチュアル」を「魂の」と説明するようにしている。では魂とは？はたして身体と精神（体と心）だけで構成されているのが人間であろうか？それぞれ人生があるが、生まれる前、死んだ後は無であるのか？余命を宣告されてくる患者に演者は「死後があると考えると少し楽になります」とよく説明する。しかし演者にはそれを確かめる能力（見えないものを見る能力）がない。

ヒプノセラピーはフロイトの提唱した潜在意識（見えないもの）を見る方法の1つである。

本講演ではその可能性について述べてみたい。

虚空と親しむ

帯津 良一 医師・医学博士

帯津三敬病院 名誉院長 (日本, 埼玉県川越市),
国際生命情報科学会 (ISLIS) 特別評議員, 日本ホリスティック医学協会 名誉会長



要旨: ホリスティック医学の究極は生と死の統合。そのための第一歩は日々の養生のなかでできるだけ多くの虚空と親しむことだ。そのための方法のいくつかを紹介したい。

キーワード: 白隠, 場の階層, 死後の世界, 太極拳, ホロンバイル大草原, 延命十観音經
くである。

1. 白隠禅師の養生法

ホリスティック医学の治療戦略の基本は医療と養生の統合である。理想のホリスティック医学を追い求めるものとしては養生は避けて通るわけにはいかない¹⁻⁵⁾。養生とは生命を正しく養うこと。この観点に基づくかぎり、世に養生書はごまんとある。古代ギリシャの医聖ヒポクラテス医学を中心とした『サレルノ養生訓』、中国の古典である『老子』、『莊子』、江戸時代の三大養生書である『養生訓』、『夜船閑話』、『言志四録』など枚挙に遑が無い。

今回は江戸時代、臨済宗中興の祖と崇められた白隠慧鶴 (1685~1768) の『夜船閑話』を取り上げてみたい。白隠禅師が駿河の松陰寺に住されておよそ40年。この間、入門して老師の厳しい接化に堪え、10年、20年、ついには松陰寺の塵となるつもりで修業した者も多くおり、皆、優秀な雲水だったという。

ところが過酷な修行のために、肺を病んだり、疝気痛 (腰腹部の疼痛)、気水の滞りによる痛みなど、難治の重病になる者がしばしば出るようになり、老師はこれを心配されて、「内観の秘伝」とも「仙人還丹の秘訣」とも呼ばれる呼吸法を伝授する。

どんな呼吸法なのか。参禅工夫はひとまず置いて、ぐっすりひと眠りしたあと、まず仰臥して目を瞑り、かといって眠り込まずに、両脚を伸ばし強く踏み揃え、体中の元気を臍輪、気海、丹田、腰脚、そして足心に充たすようにするのである。

それから次のように観想してみるがよい。我がこの気海、丹田、腰脚足心、総に是れ我が本来の面目 (かおかたち) である。次いで我が本分の家郷 (ふるさと)、唯心の浄土、己身の弥陀 (自分の身にそなわっている阿弥陀仏) であると。

このように繰り返し繰り返し観想するがよい。この観想の効果が積もれば、一身の元気いつしか腰脚足心に充足して、臍下が瓢箪のように充実してくること、篠打ちして柔らかくする前の固く張った蹴鞠のごと

実践してみればわかるが、呼気とともに臍下丹田に気を充たしていく逆腹式呼吸である。

さらにいう。この秘要を励み勤めて怠らなければ、禅病を克服し疲労を取り去るのみにあらず、禅の修行が進み、抱き続けた大疑が忽然として氷解し、手を打ち大笑するような大歓喜を得ることになるだろう；『白隠禅師の気功健康法』佼成出版社²⁾。

大変な迫力である。お弟子さんたちの命がかかっているから当然と言えば当然だが、他の養生書に類を見ない迫力である。

さらに、このあとが本番である。心の病が全快したからといってそれで満足してはならない。治ったらますます参禅に励むがよい。悟ったならば、いよいよ進まなければならない。

しかし、それで長生きしたとはいえ、やはり皆、死んでいくのだ。それよりは、四弘誓願による菩提心を奮い起こし、菩薩の威儀に学び仏法の教えを説き、虚空に先立って死せず、虚空に遅れて生まれられないというほどの、不生不滅であって虚空とおなじ歳といった境地、不退堅固の真の仏法の姿をこの身をもって体現しようではないか、と。つまり、生きながらにして虚空と一体となることこそ養生の本分だということのである。

2. 場の階層

虚空とはもともと仏教用語であるが、仏典では、一切の事物を包容してその存在を妨げない、何もない空間である。万物を包容する大いなる“場”といってもよいだろう。

自然界の場が階層から成ると最初に教えてくれたのは分子生物学者の松本文二さんである；『ホメオパシー医学への招待』フレグランスジャーナル社³⁾。

まずは私たちの体内に目を向けてみよう。臓器の場、組織の場、細胞の場、遺伝子の場、分子の場、原子の場、素粒子の場が内に向かって階層を為している。一方、外に目を向けると、家庭、職場、学校などの日常生活の場、地域社会の場、自然界の場、国家の場、地球の場、宇宙の場、虚空の場が外に向かって階層を為している。

そして、この場の階層には、上の場は下の階層を超

えて含む、という原理がはたらいっているという。つまり上の場は下の場のもつ性質はすべてもったうえで、さらにプラス α の性質を持ち合わせているのである。だから下の場における研究成果を上の方に当てはめようとする、時にして無理が生じることがあるという。例えば、人間という階層に生まれた“癌”という病気に対して臓器という階層に築かれた西洋医学をもってしたのは、どうしても手を焼くことがある。人間という階層に生まれた癌に対しては、人間という階層に築かれたホリスティック医学をもってしなければならないということになるのである。

さらに、ホリスティック医学の対象とする“人間まるごと”の概念が変わってくる。これまで人間という階層のみを相手にしていたのであるが、素粒子から虚空までがかくも緊密に繋がっているとすると、人間という階層だけを相手にしていたのでは足りず、素粒子から虚空までのすべての階層を相手にしなければならない。虚空が急に身近かなものになって来るのではないか。虚空の場のエネルギーであるスピリット (Spirit) の一部が人間の内なる生命場に入り込んでソウル (Soul) となっていることも理解できるし、虚空が私たちの故郷であり、死後の世界でもあることも、よくわかるというものである。

3. 虚空が死後の世界であることを確信する

以前、『週刊朝日』さんで、不定期ではあるが「養生対談」なる対談を続けたことある。全部で30人くらいの方々とお会いしたことになるが、何方にもかならず、「死後の世界についてどう思われますか」と訊いたものである。答は人それぞれ。

落語家の立川談志さんは、「そうよなあ。誰も帰って来た奴はいないからなあ。よほどいい処なのだろう」。作家の椎名誠さんは、「有るか無いかというよりも、私は無いと困るのです。なぜかって、私の身体が潰えた後、命の行き場がなかったら困るではないですか」と。

じつは私自身は死後の世界の存在を信じている。どうということかという、ホリスティック医学では患者さんと二人して相談尽で個性的戦略を練る。だから二人の関係は医師と患者の関係を超えて戦友の間柄になる。戦友が相手の凶弾に倒れたときはかならずその旅立ちを見送ることにしたのである。主治医がご家族に臨終を告げたあと、主治医と交代してご遺体の枕頭に侍るのである。すると早くて1~2分、長くて1時間経つとご遺体の顔がすーっと良くなるのである。例外はほとんどない。

因みに、このことについて漫画家の手塚治虫さんも、そのエッセイのなかで記してしる。医師になって始めて患者さんの死に接した際の情景のなかで

いよいよ「ご臨終です」と教授が言ったとき、その患者さんの顔がふっと変わったのです。まるで仏様のような顔になった。これまでしかめっ面をして、頬がやせこけて本当に見るのも哀れな容貌だったのが、一瞬ひじょうに神秘的な美しい顔になったのです、と；

『ぼくのマンガ人生』岩波新書⁴⁾。

なぜに死んだあと例外なく、手塚さんの言葉を借りていえば、神秘的で美しい顔になるのか。とつおいつ考えるなかで私の達した結論はこうである。この美しい顔は、この世のお勤めを果たして、これから故郷に帰ろうとする安堵の表情なのだ。では故郷は何処に？

あっ！白隠さんの虚空ではないか。なんと死後の世界とは虚空のことだったのである。

4. 虚空と親しむ方法

これで死後の世界の存在が明らかになった。ホリスティック医学の究極である、生と死を統合する際の相手側が確信できたのである。あとは日常のなかで、できるだけ多くの虚空と親しむことだ。そのための方法のいくつかを挙げてみよう。

① 新呼吸法「時空」:30年前に私がアレンジした虚空と親しむための気功。わが養生塾の基本功法。

② 太極拳:武術であるから常に上の境地を目指す。虚空に行ってから勝負である。

③ ホロンバイル大草原:空の青、雲の白、草の緑の三食の世界に一人立ち、雄大な白雲のシンフォニーを仰ぐとき、虚空を実感するのである。隔年に訪れている。

④ 延命十句観音経:白隠さんのこのお経を毎朝唱えながら虚空と一体になる。

観世音	虚空を觀じ
南無仏	仏道に帰依する
与仏有因	仏と因あり
与仏有縁	仏と縁あり
仏法僧縁	仏法僧の三宝を身につけて
常樂我淨	常に楽しみ我さわやか
朝念觀世音	朝に念ずる虚空のいのち
暮念觀世音	夕に念ずる虚空のいのち
念念從心起	一瞬一瞬虚空を觀じて
念念不離心	一瞬一瞬虚空と一体となる

;『汝のこころを虚空に繋げ』風雲舎⁵⁾。

さあ！生と死の統合を目指して一路邁進である。

参考文献

- 1) 帯津良一:巻頭言.いざいのちの場へ. *Journal of International Society of Life Information Science*, 121, 38(2), 2020.
- 2) 帯津良一:白隠禅師の気功健康法-新呼吸法「時空」実践のすすめ. 校成出版社, 2008.
- 3) 松本丈二:ホメオパシーへの招待.フレグランスジャーナル社, 1999.
- 4) 手塚治虫:ぼくのマンガ人生.岩波新書, 1997.
- 5) 帯津良一:汝のこころを虚空に繋げ. 風雲舎, 2020.

(新)国際総合研究機構(IRI)創立構想案
世界一の「潜在能力科学研究所」と「いやしのビル」の
実現を目指して

(A New *International Research Institute (IRI)* for a Large-Scale
“*Human Potential Science Institute*” and a “*Healing Building*”)

山本 幹男 博士(医学), 博士(工学)

(Mikio YAMAMOTO, Ph.D.)

国際生命情報科学会 (ISLIS) 理事長・編集委員長¹ (日本, 千葉)
国際総合研究機構 (IRI) 理事長², 「潜在能力科学研究所」 創立責任者²



要旨: 永年「いやしのビル」や世界一の「潜在能力科学研究所」の実現を目指して来たが、千葉市の近辺にそれを実現すべく、(新)国際総合研究機構(IRI)創立構想案をここに提起するので、皆様のご意見を賜りたい。また、この実現のために最重要なのは、心の綺麗な優秀な多分野の多くの人材で、自薦を含め皆様のご推薦を賜りたい。

キーワード: 国際生命情報科学会, ISLIS, 生命情報科学, 潜在能力科学, 国際総合研究機構, IRI, 科学, 精神, 脳, 心身, 代替医療, CAM, 統合医療, IM, 予防医学, 未病, 精神神経免疫, スピリチュアル, ヒーリング, 気功, ヨーガ, 瞑想, 潜在能力, 催眠, 心, 不思議, 世界像, 世界観, 超常現象, 超能力, 超心理, 幸福, 平和

(新) 国際総合研究機構 (略称 IRI, アイ, 愛理) 構想案
International Research Institute (IRI)

山本 幹男

【目的】

本研究機構は、現代科学をもってしても原理が未だ解明されていない科学・医学・環境、また哲学・社会分野の根本課題を中心に、世界の科学・文化の叡智を結集して研究・解明し、その成果を以って、広く世界の人々の健康・福祉・生きがいの創生・不平等解消・幸福、生物地球宇宙環境の回復と世界平和に寄与する事を目的とする。

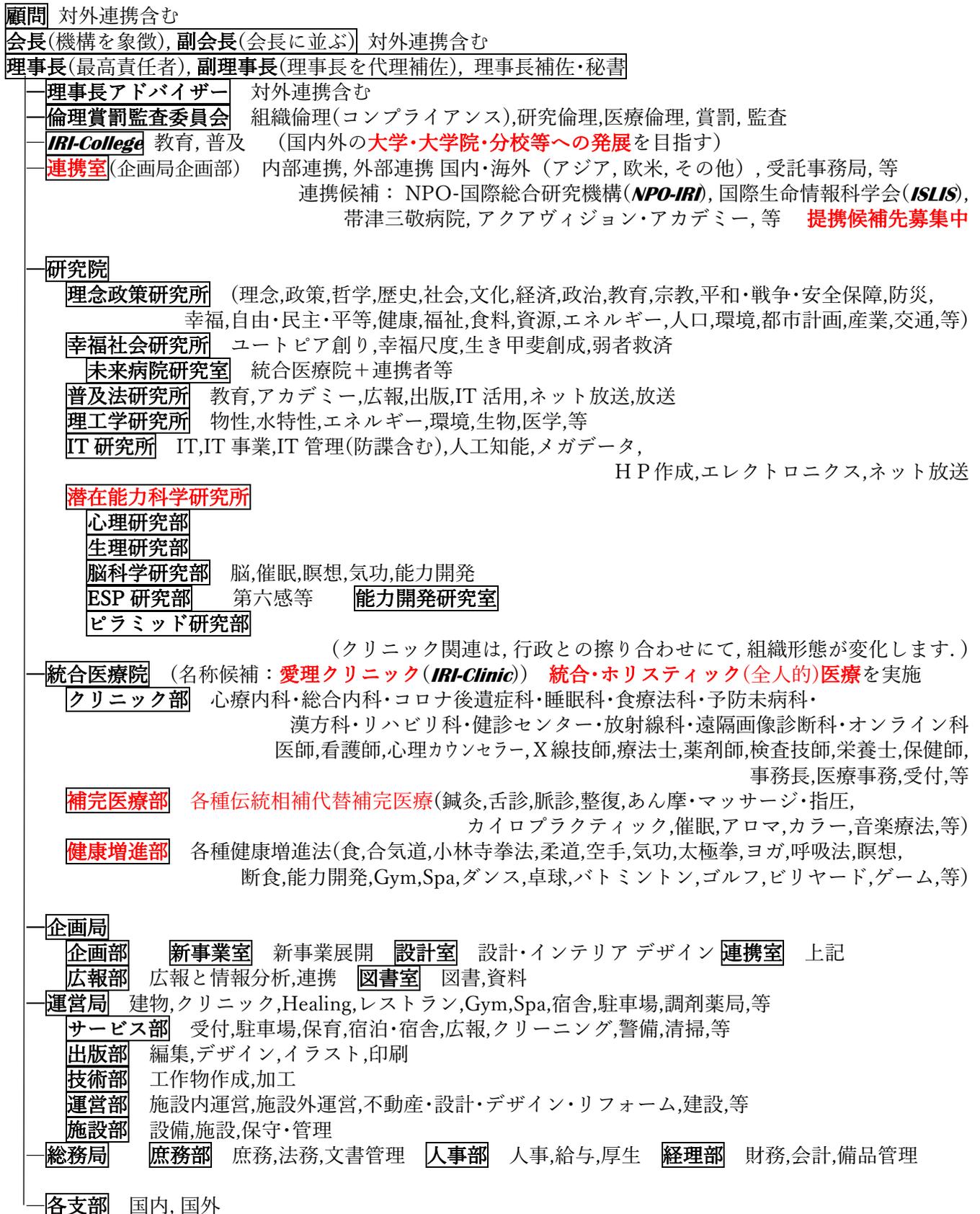
【研究課題例】

- ・物質の微細構造・量子力学の謎は？ 極微の物性は？ 水の機能は？
- ・新エネルギー・新蓄電法は？ 食料の自給増産法は？ ウイルス等への対処法は？
- ・宇宙の創生・終わりと膨張・果ては？ 地球に起こる困難と克服法は？
- ・病気の根本原因は何か？ 老化の原因は何か？ 何が寿命を決めているのか？
- ・脳と他の身体の役割は？ 自然治癒力はどうしたら増強できるか？
- ・健康増進法, 予防・未病・統合・ホリスティック(全人的)医学・医療法は？
- ・催眠・瞑想・気功・ヨガ等の機構と効果は？
- ・気・ハンドパワー・ヒーリング・超能力等による治療の効果は？ それらの原理は？
- ・ホメオパシー・波動機器等の効果と原理は？
- ・肉体を離れて精神・魂・霊は存在するのか？
- ・死後はどうなるのか？ 「輪廻転生」はあるのか？ 「生まれ替わり」はあるのか？
- ・念じるだけで物体に影響を与えられるか？ テレパシー・透視・予知等は存在するのか？ その原理は？
- ・UFO・宇宙人・UMA 等の実情・実態は？
- ・ピラミッドの機能は？
- ・物質が先か, 精神が先か？ 神は存在するのか？ 神とは何か？
- ・どうしたら生物・地球・宇宙環境を回復できるか？
- ・どうしたら世界平和が実現できるか？
- ・どうしたら不平等・貧富差等を解消でき・幸福社会を実現できるか？
- ・経済システムは歴史と共に変遷してきたが、資本主義の後はどうなるのか？
- ・資本主義からの移行期の経済活動は？
- ・ユートピアはどうあるべきか？ どうしたら実現できるか？

1, 2 国際総合研究機構 (IRI) 内 〒263-0051 千葉県稲毛区園生 1108-2 ユウキビル 4FA HP: www.a-iri.orgHP: www.islis.a-iri.org
山本 幹男 Mikio Yamamoto 直通: E-mail: nsnpoi@gmail.com 携帯: 090-9232-9542 Fax: 043-255-9143

(新) 国際総合研究機構 (略称 **IRI**, アイ, 愛理) 本部組織図 構想案
International Research Institute (IRI)

山本 幹男



特別講演

『おなつ蘇甦物語』—江戸時代の『プルーフ・オブ・ヘヴン』

大野 真実

医療法人愛仁会介護老人保健施設ボヌール(日本、埼玉)

要旨: 『おなつ蘇甦物語』は江戸時代中期に実在した「おなつ」という女性の信仰と死そして蘇生を題材にした物語である。はじめおなつは不信心であったが、旦那寺の住持に教化を受け、日々念仏を唱えて過ごすようになる。妊娠して難産のため亡くなるが、翌日蘇生し、体験した極楽について語る。浄土真宗の勸化本に分類され、版本として出版もされているが、それとは内容の異なる写本類が各地に現存しており、長く読み継がれてきたと思われる。当時の他の蘇生譚と比較しても、現代の臨死体験との共通点が多く、おそらく実際にあった出来事を原典としていると考えられる。今回は臨死体験的考察として、この物語の臨死体験としての側面に着目した。また当時の人々の死生観を現代のそれと対照してみたい。

(当発表の一部は今年度の日本印度学仏教学会にて発表・投稿予定である)

キーワード: 蘇生譚、臨死体験、来世観、浄土教

研究発表

新型コロナウイルス感染症の後遺症に麻黄附子細辛湯が 著効したと思われた2例

亀井 勉

医療法人弥生会吾妻さくら病院(日本、群馬)

一般講演

ピラミッドパワーの科学的研究 (2007年10月～2021年8月) (Scientific Research on Pyramid Power: Studies from October 2007 to August 2021)

高木 治¹、坂本 政道²、河野 貴美子¹、山本 幹男¹

¹ 国際総合研究機構(IRI) (日本、千葉)

² 株式会社アクアヴィジョン・アカデミー (日本、千葉)

要旨: 我々は2007年10月以来、ピラミッド型構造物(pyramidal structure: PS)の未知なるパワー (ピラミッドパワー) に関して、模型を作製し厳密に科学的な実験・分析を続けている。またピラミッドパワーを検出するバイオセンサ (食用キュウリ切片) の特性に関する研究も平行しておこなっている。本講演では、これまでの研究成果である下記10報の原著論文の中で、特にPSの潜在力によるピラミッド効果 (下記の研究成果の7)～10)) について発表する。今後これらの成果が広く認められ、科学における新たな研究分野となり、幅広い応用の可能性が期待される。なお、研究成果の詳細は、国際総合研究機構 (IRI) のHPに掲載していますので、ご覧ください。
<http://www.a-iri.org/iri-jp/>

研究成果 (原著論文掲載順)

- 1) 2013年4月: PS内で瞑想した被験者による、バイオセンサへの非接触効果 (ピラミッド効果) を発見した。
- 2) 2015年5月: PS内で瞑想した被験者による、遅延をともなったピラミッド効果を発見した。
- 3) 2016年6月: ピラミッド効果を検出するための一つの条件を特定した。
- 4) 2018年3月: バイオセンサから放出されるガス濃度の周期的 (日内変動) な変化を発見した。
- 5) 2018年4月: キュウリの切断面の方向が成長軸に対して同方向か逆方向かの違いによって、バイオセンサから放出されるガス濃度が異なることを発見した。
- 6) 2019年3月: 6 km以上離れた被験者の無意識の影響と考えられるピラミッド効果を発見した。
- 7) 2019年8月: 被験者の影響を除外した実験で、PSの潜在力によるピラミッド効果を発見した。
- 8) 2020年5月: PSの潜在力によって、PS頂点に2段に重ねて置いたバイオセンサへの影響が、下段と上段で異なることを発見した。
- 9) 2020年12月: PSの潜在力が2種類あることを発見した (季節変動するピラミッド効果と季節変動しないピラミッド効果の発見)。
- 10) 2021年7月: PSの潜在力によるエンタングルメント (絡み合い) を発見した。

キーワード: ピラミッド、潜在力、瞑想、無意識、遅延、バイオセンサ、キュウリ、ガス、サイ指数

代表著者連絡先: 〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 ユウキビル 4FA 電話 043-255-548 電子メール: takagi@a-iri.org

参考文献

Takagi, O., Sakamoto, M., Kawano, K. and Yamamoto, M. (2021) Potential Power of the Pyramidal Structure IV: Discovery of Entanglement due to Pyramid Effects. *Natural Science*, **13**, 258-272.

研究発表

ピラミッド効果とエンタングルメント (Pyramid Effects and Entanglement)

高木 治¹, 坂本 政道², 河野 貴美子¹, 山本 幹男¹

¹ 国際総合研究機構(IRI) (日本, 千葉)

² 株式会社アクアヴィジョン・アカデミー (日本, 千葉)

要旨: 我々は2007年10月以来、ピラミッド型構造物(pyramidal structure: PS)の未知なる「パワー」に関して、バイオセンサ(キュウリ切片)を使用し、厳密に科学的な研究を続けている。これまでの我々の10報の原著論文から、PSによるピラミッド効果は次の2つに分類することができた。(i) PSの潜在的な力がバイオセンサに影響を与えるピラミッド効果。PSの潜在的な力を検出する実験は、PS内部に少なくとも20日間以上被験者が入らず、被験者の影響を除外した条件で行った。(ii) PS内部に被験者が入って瞑想をした場合、PSが被験者の未知エネルギーを変換してバイオセンサに影響を与えるピラミッド効果。(i)に関して、これまでに次の3つの結果を得た。1) PSの潜在的な力によって、PS頂点に置いたバイオセンサに影響を与えるピラミッド効果の存在を明らかにした(春分と秋分で1年を2つの期間に分けた時、各期間のピラミッド効果を比較した結果、有意差を得た。 $p=6.0 \times 10^{-3}$, Welch's t-test, two-tails, これ以降のp値も同様)。2) PSの潜在的な力によって、PS頂点に2段に重ねて置いたバイオセンサに影響を与えるピラミッド効果が、下段と上段で異なることを明らかにした(ピラミッド効果の大きさを示すサイ指数が、下段のバイオセンサに対するサイ指数は-3.01でマイナスの値、上段に対するサイ指数は5.52でプラスの値となり、下段と上段のピラミッド効果の間で有意差を得た。 $p=4.0 \times 10^{-7}$)。3) PSの潜在力に関して、季節変動する潜在力と、季節変動しない潜在力の2種類存在し、それぞれの潜在力によるピラミッド効果が存在することを明らかにした。本発表では、(i)に関する新たな発見を報告する。我々は今回、PSの潜在力によるピラミッド効果を解析するにあたって、サイ指数を使用せず、ガス濃度そのもので解析を行った。その結果、これまで見過ごされてきた現象を発見することが出来た。それは、ペアで作成されたバイオセンサ間の、エンタングルメント(絡み合い)と考えられる現象である。つまり、PSの潜在力によって、PS頂点の実験試料が影響を受け、それに伴って校正基準点の対照試料に対して影響が及ぶということである。また、エンタングルメントによる影響の大きさは季節によって変化することも明らかとなった。このことから、我々が導入したサイ指数は、PS頂点のバイオセンサに対する影響だけでなく、そのペアのバイオセンサに対する影響の、両方の影響を含んだ結果を表しているという新しい知見を得ることができた。ピラミッドパワーに関する研究は、未だアカデミズムの世界では異端と見做されることが多い中、我々の実験結果は、この分野において世界初の研究成果である。今後この成果が一般に広く認められ、科学における新たな研究分野となり、幅広い応用の可能性が期待される。

キーワード: ピラミッド、潜在力、エンタングルメント、バイオセンサ、キュウリ、ガス、サイ指数

代表著者連絡先: 〒263-0051 千葉県稲毛区園生町1108-2 ユウキビル4FA 電話 043-255-548 電子メール: takagi@a-iri.org

参考文献

Takagi, O., Sakamoto, M., Kawano, K. and Yamamoto, M. (2021) Potential Power of the Pyramidal Structure IV: Discovery of Entanglement due to Pyramid Effects. *Natural Science*, **13**, 258-272.

新型コロナウイルス肺炎治療に対するモンゴル伝統医学診療の紹介 (Introduction of Diagnosis and Treatment of COVID-19 Pneumonia by Traditional Mongolian Medicine)

バイ・ドリナ^{1,2} 博士 (工学)

(DAORINA BAI, Ph.D.)

¹アンパック株式会社 (日本、神奈川県)

²モンゴル民族文化基金 (日本、神奈川県)

要旨: 新型コロナウイルス肺炎が発生した後、内モンゴル自治区地域のモンゴル伝統医学医療機関は感染者にモンゴル伝統医療と西洋診療を両者併用して臨床効果を比較して、モンゴル伝統製剤投与したほうが良い効果を得られたことが認められて、ニュースに掲載され注目が集まった。

キーワード: 新型コロナウイルス感染肺炎(感染症)、病原体核酸検査(PCR 検査)、モンゴル伝統医薬学、モンゴル医療と西洋医療の連携、漏蘆花—12 味丸、九味黒散、分子ドッキング方法

1. はじめに

1.1 モンゴル伝統医療簡史

1206 年の前、以前から行われていた遊牧民族固有の外科的治療法（動物の皮や臓器を用いる罨法・灸および針刺療法・瀉血療法）や食餌・栄養療法（『飲膳正要』）は興隆していた^[1]。1206 年以降、モンゴル民族は統一された後に拡大された版図の地域間との交流により様々な医薬に関する理論や薬物がモンゴルに伝えられた。インド医学（アーユルヴェーダ）との接触は 14 世紀のことで、16 世紀後半以降はチベット仏教とともにチベット医学の聖典である『ギュー・シ（四部医典）』が伝播しモンゴル民族の間に普及して、17 世紀末頃からモンゴル医薬はチベット医薬と融合する動きが現れた。さらにこの時期『本草綱目』など中医薬書もモンゴル語に翻訳されており、中医学の影響も受けて近代モンゴル医学が形成された^[1]。

1.2 モンゴル伝統医薬は国家レベル無形文化遺産に登録

2008 年 6 月 7 日に【第二批国家級非物質文化遺産名録（計 510 項目）】が中国国務院より公布された。【伝統医薬】に分類されているモンゴル伝統医薬は“国家級非物質文化遺産”（国家レベル無形文化遺産）に登録された。番号は 972、編号は IX-12、項目名称は“モンゴル医薬”、申請地域（或いは機構）：内モンゴル自治区である^[2]。

1.3 内モンゴル民族大学附属病院

内モンゴル民族大学附属病院^{[3][4]}は内モンゴル自治区ホルチン草原トシリャオ市^{[5][6]}に位置しており、武漢市^[7]からは北方位、約 2155km の距離がある。当医療機関は国家レベル三級甲等のモンゴル医療総合病院であり、診療・教育・研究・予防・保健・健康管理の 6 分野を通して広く社会に貢献してきた。且つ、全国で唯一の国家レベルの“モンゴル医療と西洋医療の連携拠点病院(Combined clinic of Mongolian medical care and Western medical care)”である^[8]。

2. モンゴル伝統製剤を用いて新型コロナウイルス肺炎診療方案の確立

2019年12月31日に、武漢市衛生健康委員会(Wuhan Municipal Health Commission)は、原因不明の肺炎27例(うち重症7例)の集積事例の発生を報告した。症例の症状は主に発熱であり、少数は呼吸困難を呈し、胸部レントゲンでは両側に浸潤性の病変を示した。患者は隔離治療を受けており、疫学調査と予備的な検査の結果から症例はウイルス性肺炎と考えられ、病原体の検出と感染原因の調査を実施中と報告した^{[9][10]}。

2020年1月22日に、國家衛生健康委員会からは《新型コロナウイルス感染肺炎診療方案(試行第三版)》を発表した^{[11][12]}。

直ぐに、内モンゴル自治区衛生健康委員会からは《新型コロナウイルス感染肺炎に対するモンゴル医薬・中薬の予防診療技術指導方案》を発表した。内モンゴル民族大学附属病院も従って直ぐに新型コロナウイルス感染症蔓延防止等重点措置の特設した上で、更に感染症対策医療チームも作り上げて、色々の準備をしておいた^[8]。

1月29日に、当病院調剤した8品目のモンゴル伝統製剤が内モンゴル自治区薬品监督管理局に註冊備案された。この8品目のモンゴル伝統製剤“漏蘆花—12味丸”が特に普及使用されるようになり、1月30日に新型コロナウイルス感染症疫情防控指揮部からは《新型コロナウイルス感染肺炎疫情防控に対するモンゴル伝統製剤“漏蘆花—12味丸”の普及使用に関する工作方案^{[13][14]}》を印刷配布した^[8]。

1月31日に、トンリャオ市市場监督管理局からは《内モンゴル民族大学附属病院“九味黒散^[15]”等8品目の製剤をトンリャオ市伝染病病院等14医療機関に向け調剤使用に関する同意通知》、および《内モンゴル民族大学附属病院“九味黒散”等8品目の製剤をカイロー県^[16]病院等7医療機関に向け調剤使用に関する同意通知》を印刷配布した^[8]。同時に、トンリャオ市医療保健管理局は“漏蘆花—12味丸”等8種類の製剤を医療保険薬品目録に収録した^[8]。

2月22日に、内モンゴル自治区薬品监督管理局・衛生健康委員会・医療保障局は連合し《内モンゴル民族大学附属病院の8品目のモンゴル伝統製剤を自治区全域の新型コロナウイルス肺炎指定医療機関にて調剤使用に関する通知》を印刷配布した。これと同時に、内モンゴル民族大学附属病院の研究プロジェクト“モンゴル伝統製剤を用いて新型コロナウイルス肺炎治療の臨床研究”は内モンゴル自治区2020年度の科学技術難関プロジェクトに収録した^[8]。

3. 症例とモンゴル伝統製剤の応用

3.1 内モンゴル自治区トンリャオ市にて初の新型コロナウイルス感染者確認

1月25日に、武漢からの新型コロナウイルス感染症者と濃厚接触の疑いが有った1人の方が発熱・空咳・倦怠感・呼吸が苦しい等症状が現われた為、内モンゴル民族大学附属病院に診療を希望して受けられた。胸部CT検査の画像分析と疫学調査により、新型コロナウイルス肺炎疑似症患者と認められた^[8]。

当病院は内モンゴル自治区衛生健康委員会から発表した《新型コロナウイルス感染肺炎に対するモンゴル医薬・中薬の予防診療技術指導方案》に従って、モンゴル伝統製剤投与方案を決定した^[8]。

1月26日に、新型コロナウイルス感染症に係る病原体核酸検査(Polymerase Chain Reaction、以下PCRと言う^[17])結果は陽性であった。内モンゴル自治区トンリャオ市には初の新型コロナウイルス肺炎患者を確認された。病院側はモンゴル医療と西洋医療の連携診療方案を継続使用した^[8]。

2月7日に、当患者はPCR検査結果が陰性になり、CT検査結果も画像所見ともに改善がみられた。3日後に検体痰のPCR検査を2回行って、その結果も全て陰性であった^[8]。

3.2 内モンゴル自治区地域の他医療機関への応援

2月1日に、1人のPCR検査結果陽性の患者が内モンゴル自治区ボグト市^[18]第三病院に送られた。翌日に、当病院は内モンゴル民族大学附属病院と連携して、患者に西洋診療方案を実施する上で、モンゴル伝統製剤も投与した。5日立った後に、患者は咳の回数と痰の量が減少し、倦怠感も完全に消えて、下痢や発熱がなく、臓器傷害も認められなかった^[8]。

また、内モンゴル自治区モンゴル医薬・漢方医薬管理局およびトynリャオ市衛生健康委員会の下命により、内モンゴル民族大学附属病院はモンゴル医療専門家チームを他医療機関へ派遣した。派遣先はトynリャオ市伝染病病院・フフホト市^[19]第一人民病院および第二人民病院・ボグト市伝染病病院等がある。あそこで、モンゴル伝統製剤を用いて新型コロナウイルス肺炎診療を指導しながら、臨床病例についての経験・効果をまとめて、診療方案を全面的な評価を行った。その上で、把握した状況を自治区衛生健康委員会に報告・備案し、効果が有ったモンゴル伝統製剤を内モンゴル自治区全区域の医薬システムに収録した^[8]。

こういうふうには、2020年8月27日の11:53時までの時点で、内モンゴル民族大学附属病院は所在地トynリャオ市にて、新型コロナウイルス感染者にモンゴル伝統製剤を投与した症例17人が全員回復でき、良い効果を得られたと認められたことでニュースに掲載され、注目が集まった^[8]。

3.3 武漢市方舱医院への応援

3.3.1 新型コロナウイルス肺炎予防に対する予防薬承認

武漢市で新型コロナウイルス肺炎が発生してから、内モンゴル国際蒙醫醫院・内モンゴル自治区蒙醫藥研究所^{[20][21]}は《新型コロナウイルス感染肺炎に対するモンゴル伝統医療の予防および診療方案(第二版)》を制定して、モンゴル伝統製剤の“九味黒散”を新型コロナウイルス肺炎の予防薬と承認した^{[15][22][23]}。内モンゴル国際蒙醫醫院・内モンゴル自治区蒙醫藥研究所は、内モンゴル自治区フフホト市に位置している三級甲等のモンゴル医療総合病院である。モンゴル伝

統医学が主体になった診療・研究・教育・予防・保健・リハビリテーション・救急・調剤等の分野を一体化にした医療機関で、内モンゴル医科大学附属モンゴル医療病院、モンゴル医療臨床医学院、内モンゴル民族大学のモンゴル医薬臨床医学院の実習養成施設の一つであり、フフホト市120救急ステーションの一つ拠点でもある^[21]。

3.3.2 “九味黒散”を調剤し武漢市へ応援

感染予防緊急対策の一つの方案としてまずは、病院構内のスタッフや患者のために“九味黒散”を残業して調剤した。初期ロットの生産量は約1570袋あり、構内の薬局に配送した。その次に、調剤センターは“九味黒散”を継続生産して、包装デザインも更新した。2020年3月8日22:53:59時の時点で、約15000袋も調剤して、武漢市方舱医院へ配送した^[15]。

4. 効果の纏め

新型コロナウイルス肺炎に対するモンゴル伝統製剤の臨床効果を、西洋診療のみの効果と比較すると、発熱・空咳・倦怠感のような最もよくある症状、および呼吸が苦しいまたは息切れのような重篤な症状が速く改善でき、コロナ陽性から陰性になる期間も短縮できることが認められた。この結果によって、抗微生物薬の投与やホルモン療法を使用せずに、軽度からの重度化を予防することが可能と考えられる。また、遊牧民族固有の食餌・栄養療法も併用することで、より早く回復できたことも認められた。それに、新型コロナによる多臓器傷害を改善も期待可能とされているので、治療満足度が高く評価されている^[8]。

5. 今後の展望

新型コロナウイルス感染に対するモンゴル伝統医学診療と製剤をより広く、より効果的に応用についての研究は、内モンゴル自治区地域の各医療機関で盛んに行われている。

5.1 九味黒散の改善

今のところ、“九味黒散”に基づいた予防薬“九味防疫黒散I号”と“九味防疫黒散II号”が開発中であるそうだと[22]。

5.2 先端研究

分子ドッキング方法を用いてモンゴル伝統製剤の一部の活性化化合物を調査する研究プロジェクトも発足している。新型コロナウイルス肺炎に対するモンゴル伝統製剤についての初めての論文も発表している[24]。

黒死病(Black Death)^[25]・インフルエンザ(influenza)^[26]・重症急性呼吸器症候群(SARS: severe acute respiratory syndrome)^[27]と戦った経験があるモンゴル伝統医学分野の方々には、新型コロナウイルスにも負けないようにチャレンジしている^[8]。

謝辞

本紹介文を作成するにあたり、ご助言を頂いた河野貴美子先生(国際総合研究機構)及びムンク バートル博士(モンゴル民族文化基金)に心より感謝致します。

附：内蒙古自治区疫情

<https://zh.m.wikipedia.org/wiki/2019%E5%86%A0%E7%8A%B6%E7%97%85%E6%AF%92%E7%97%85%E5%86%85%E8%92%99%E5%8F%A4%E8%87%AA%E6%B2%BB%E5%8C%BA%E7%96%AB%E6%83%85#:~:text=1%E6%9C%8823%E6%97%A5%EF%BC%8C%E5%86%85%E8%92%99%E5%8F%A4,%E4%BA%BA%EF%BC%8C%E6%AD%A3%E5%9C%A8%E6%8E%A5%E5%8F%97%E5%8C%BB%E5%AD%A6%E8%A7%82%E5%AF%9F%E3%80%82>

引用・参考 URL

- [1] モンゴル医学と薬物：
<https://core.ac.uk/reader/70330427>
- [2] 中国政府網：
http://www.gov.cn/zwggk/2008-06/14/content_1016331.htm
- [3] 内モンゴル民族大学(Inner Mongolia University for Nationalities)

ᠠᠨᠨᠢ ᠮᠣᠩᠭᠣᠯᠢ ᠤᠨᠢᠨᠦᠨᠢ

https://ja.wikinew.wiki/wiki/Inner_Mongolia_University_for_Nationalities

[4] 内蒙古民族大学

https://spc.jst.go.jp/education/univ/univ_464.html

[5] 通遼市(トンリャオシ)

<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E9%80%9A%E9%81%BC%E5%B8%82>

[6] 通遼

ᠲᠣᠨᠯᠢᠶ᠋ᠠᠤ ᠰᠢ、Байшинтхот、Tongliao

<https://ja.wikinew.wiki/wiki/Tongliao>

[7] 武漢市

<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E6%AD%A6%E6%BC%A2%E5%B8%82>

[8] 中国民族网

<https://www.56-china.com.cn/show-case-3910.html>

[9] BBC News：中國新型冠狀病毒疫情大事記

<https://www.bbc.com/zhongwen/trad/chinese-news-51382117>

[10] 2020 CHIBA WEEKLY REPORT 千葉県結核・感染症週報 2020年第2週(令和2年1月6日～令和2年1月12日)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/c202003.pdf>

[11] 新冠肺炎

<https://kb.commonhealth.com.tw/library/325.html>

[12] 中國政府網

http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2020-01/23/content_5471832.htm

[13] 祁州漏芦(Rhaponticum uniflorum)的干燥花

<https://wap.cnki.net/touch/web/Journal/Article/KJFT201902013.html>

[14] 漏蘆(ろろ, Roro)

<https://ethmed.toyama-wakan.net/Search/View/530>

[15] 蒙药“小香囊”飘香御病魔

<http://www.gjmyy.cn/news/show-1748.html>

[16] 開魯県(かいろ-けん)

<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E9%96%8B%E9%AD%AF%E7%9C%8C>

[17] COVID-19(新型コロナウイルス感染症)のためのPCR 検査について

<https://www.wakenbtech.co.jp/topics/post-23136>

[18] 包頭市 (ボグトシ)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%85%E9%A0%AD%E5%B8%82>

[19] フフホト市

<https://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%83%95%E3%83%9B%E3%83%88%E5%B8%82>

[20] 内モンゴ国際蒙醫醫院・内モンゴ自治区蒙醫藥研究所

<http://www.gjmyy.cn>

[21] 内モンゴ国際蒙醫醫院・内モンゴ自治区蒙醫藥研究所

<http://www.gjmyy.cn/content/about.html>

[22] 我盟应对新冠肺炎 积极申报自治区科技项目获批
(信息来源: 锡盟科技局)

http://kjj.xlgl.gov.cn/kjfw/xmgl_link/202002/t20200224_2400616.html

[23] 国家中医药管理局

<http://www.satcm.gov.cn/xinxifabu/meitibaodao/2020-03-08/13718.html>

[24] Exploring the Active Compounds of Traditional Mongolian Medicine in Intervention of Novel Coronavirus (2019-nCoV) Based on Molecular Docking Method

<https://documentcloud.adobe.com/link/review?uri=urn:aaid:scds:US:e50afe08-ae0a-4a8e-a149-ee6462cdecca>

[25] 黒死病 (Black Death)

https://www.forth.go.jp/keneki/nagoya/id/id_plague.html#:~:text=%E3%83%9A%E3%82%B9%E3%83%88%E3%81%A8%E3%81%AF,%E3%81%A8%E6%81%90%E3%82%8C%E3%82%89%E3%82%8C%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82

[26] インフルエンザとは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>

[27] SARS (重症急性呼吸器症候群) とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/414-sars-intro.html>

研究発表

エネルギーワーカーと精神科医療の協働（第一報） ： Human Energy Field の亀裂の修復と硬結の解消の効果について

白川 美也子¹、山本 ユキ²

¹ ころとからだ・光の花クリニック(Tokyo, Japan)

² ブループリント協会(Japan)

要旨： 山本は、エーテル体を重要視する独自のヒーリング技法を編み出し、精神科医の白川と 2015 年より協働してきた。200 セッション以上を積み重ねる中で、Human Energy Field (HEF) の各層の亀裂の修復と硬結（エネルギーの滞り）の解消が、精神症状の改善に大きな効果をもたらすことがわかってきた。第一報では、ストレス・トラウマ性疾患の難治例のほぼ全例に認められた HEF の亀裂の状況と既往歴や精神症状との関連、修復による即時効果、注意点について報告する。

注： 協働に関するケースシリーズの集積は、ころとからだ・光の花クリニックの倫理委員会（2015 年 5 月）によって承認されており、発表についての同意のある事例についてのみ検討した。第二報のケースは全例において、文書による説明同意を行い、個人情報を含む事例性のある症例提示（臨床記録と画像情報を含む）に同意を得ている。

症例報告

エネルギーワーカーと精神科医療の協働（第二報） ： 婦人保護施設で行われた遠隔ヒーリングの実際とその効果について

白川 美也子¹、山本 ユキ²

¹ ころとからだ・光の花クリニック(Tokyo, Japan)

² ブループリント協会(Japan)

要旨： 第二報では、ヒーリングの全体像を示すため、施設への訪問診療において複雑性 PTSD を中心とした重度ストレストラウマ性障害の方を対象に、白川が精神療法を 1 年間継続した上に、山本による単回の遠隔ヒーリング（zoom による録画あり）による介入を行なった 7 ケースに対する介入とプレ・ポストの臨床症状の変化を報告する。亀裂の修復に引き続く、硬結処理のために行うワークは各人各様であり、エレメンタルワークと心理学的な手法との比較検討も行う。

難病克服に導くスピリチュアル医療 ～アガ스티アの葉から外気功、鎮魂帰神法、催眠療法まで～

日本人医師が行ったアガ스티アの葉を開く活動について

山田 義帰

和クリニック(日本)

要旨: アガスティアの葉に関してご存じの方も多と思いますが、日本人の医師が実際にアガスティアの葉を開いて、その後多くの人にアガスティアの葉を開くお手伝いをする活動をしていたことを知っている方は殆どいないでしょう。今回私が慈恵クリニックで行った活動について報告します。2012.12.4に最初の申込者のアガスティアの葉を開いて、2019.9.24までにアガスティアの葉を開きたいという申込者が135人ありました。その中で自分の葉が見つかった人97人、キャンセルした人21人、まだ葉が見つかってない待機者17人でした。慈恵クリニックは2020年1月で閉院しましたので、その後の活動は中断しております。今後機会があれば、アガスティアの葉を開く活動を再開したいと考えています。最初男性は右手親指の指紋、女性は左手親指の指紋を押した紙をナディ・リーダーに送るだけで、5000年前の聖者アガスティアがヤシの葉に書き残した個人の予言書、アガスティアの葉が実際に見つかるという現代科学では解明できない神秘に立ち会って、この世界は本当にスピリチュアルな世界だと実感することが出来ました。指紋だけでアガスティアの葉が見つかり、全く見ず知らずのインド人のナディ・リーダーが古代タミル語で書かれた個人の預言書を開き、両親の名前、生年月日、親兄弟、職業、病気や事故、寿命などの個人情報を目の前でナディ・リーダーが読み上げるの聞くだけで、多くの人は人生観が変わってしまうほどインパクトのある神秘体験をするでしょう。インドより日本でアガスティアの葉を探して見つかる確率は高いと言われていますが、慈恵クリニックでも135人中97人(71.8%)、キャンセルした人を除外すれば(85.1%)の人が自分の葉が見つかったという事実を科学的に説明できる人がいれば、どうかご教授して欲しいと思っています。

生体エネルギー療法を用いた歯科治療効果

山本 伊佐夫

神奈川歯科大学(日本、神奈川)

公社) 日本厚生協会(日本、神奈川)

要旨: 針治療、磁気療法、気功、レイキ、ヨガ、セラピューティック・タッチなど生体エネルギー療法は世界的に認知され効果が上がっている。中国気功とは異なる新しいタイプの外気功を学び、長年歯科治療に応用してきた。抜歯後疼痛、顎関節症開口障害、アフタ性口内炎、知覚過敏症、根尖性歯周組織炎、歯根膜炎などに効果が見られた。今回はその気功の概要と治療効果について報告する

スピリチュアルな難病解明による潰瘍性大腸炎3症例、アトピー、リウマチ、クローン病 同一症例、症状改善報告

西本 真司

西本クリニック(日本、和歌山)

要旨: スピリチュアルペインに関する自らの研究と臨床を深めてきた経過をのべる。痛みの、領域でもスピリチュアルペインの、理解も特にターミナルステージで必要とされている。教科書的には①人生の意味への問い②死の恐怖③罪の意識④苦しみの意味⑤価値観の変化⑥死生観の変化と述べられている。もし過去の自分自身のこの世的なトラウマか、過去生にスピリチュアルな痛みのある場合、その部分の解明こそが重要になる場合があると考えられる。今回自分自身の、スピリチュアルペインに関する仮説と過去にサポートさせてもらった、潰瘍性大腸炎克服2症例 とアトピー、リウマチ、クローン病症例のスピリチュアルな過去世で著者とのつながりの可能性のテーマを報告する。集団前世誘導退行催眠により、著者の顕在意識に全く情報がない実名が、沖縄戦、戦死者に存在した事の情報考察を2016年のJSMA(日本スピリチュアル医学研究会)論文に述べた。あらたに、スピリチュアルドクター精神科医越智による過去世での自分自身でのつながりが解明し、かつ高野山での時代の過去世の繋がりから現在に至る生まれ変わりの仮説の繋がり報告と、受け入れた事で潰瘍性大腸炎症状が改善した、4症例について、考察を加え報告する。

キーワード: 潰瘍性大腸炎、集団退行催眠、リウマチ、クローン病